

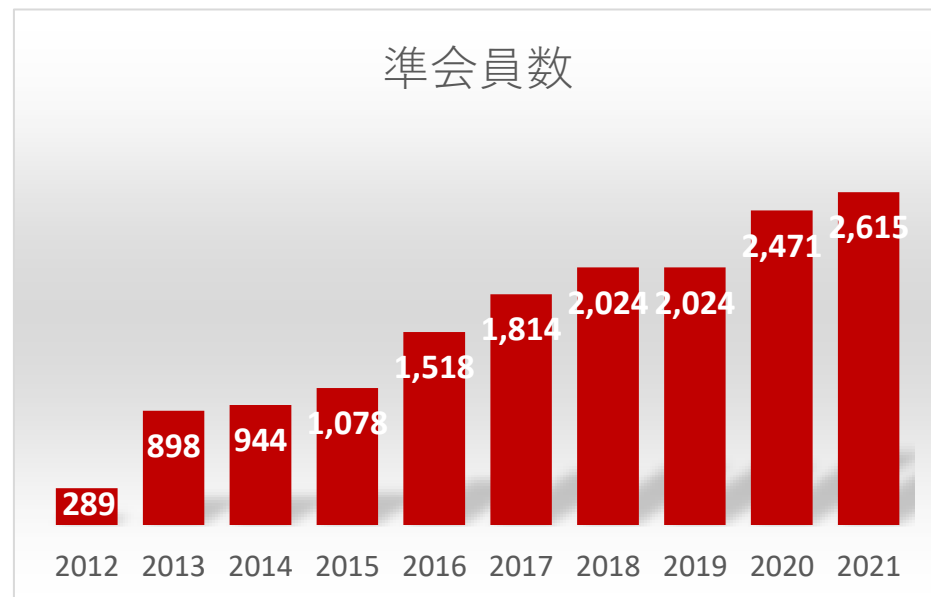
JaLC Update

Japan Link Center (JaLC)
2021年12月23日

JaLC会員数推移

正会員：61機関 準会員：2,615機関（2021年11月時点）

→今年度は正会員5機関、準会員144機関が新たに入会



東洋大学現代社会総合研究所

人間文化研究機構 国立民族学博物館

NTT先端技術総合研究所

大阪大学 蛋白質研究所

特定非営利活動法人 社会理論・動態研究所

計 5 機関

DOI累計登録件数推移

(件数)

10,000,000

9,000,000

8,000,000

7,000,000

6,000,000

5,000,000

4,000,000

3,000,000

2,000,000

1,000,000

0

201
4

201
5

201
6

201
7

201
8

201
9

202
0

202
1

合計

9,289,171

JaLC登録DOI

6,743,345

Crossref登録DOI

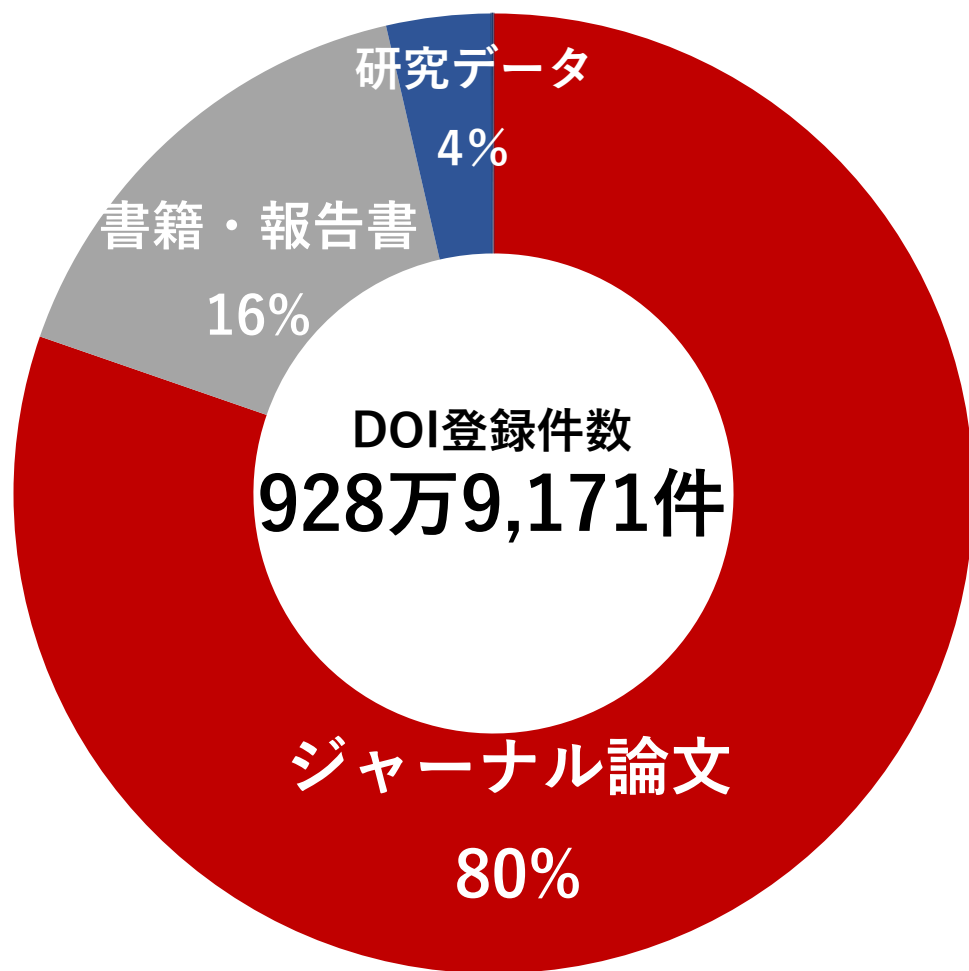
2,543,155

DataCite登録DOI

2,671

(2021年11月末時点)

コンテンツ別DOI登録件数



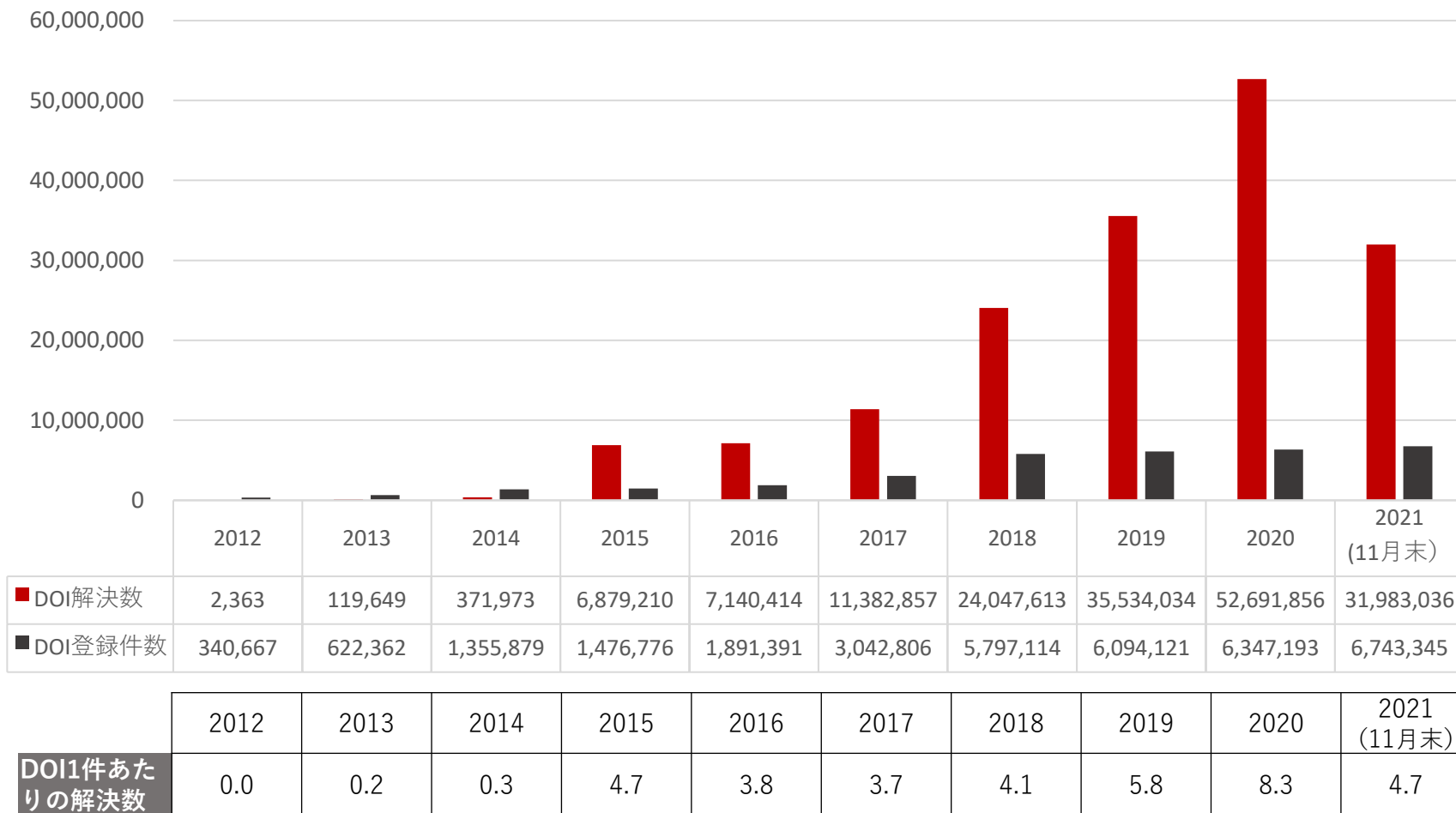
■ ジャーナル論文	750万件
■ 書籍・報告書	150万件
■ 研究データ	33万件
■ その他	5,258件

(2021 年11月末時点)

抄録登録状況

	As of Dec 2020	As of Dec 2021	変化率
JaLCに登録されているジャーナル論文	7,347,130	7,591,854	3%
JaLCに登録されている抄録	2,398,406	2,470,248	3%
抄録ライセンスフラグ「可」抄録	4,758 全抄録の0.2%	26,822 全抄録の1%	464%
抄録に登録している正会員	41	44	7%
抄録ライセンスフラグ「可」抄録 に登録している会員	一部のJ-STAGE利用学協会、やまなみ書房		

JaLC登録DOI解決数（年度毎）



2021年11月末時点

ORCID連携機能利用状況

- ORCID ** : 研究者を対象とした国際的な永続識別子。
- ORCID連携（手動）** : JaLCコンテンツ検索より自身の研究実績を選択し、ワンクリックでORCIDに業績登録する機能。
- ORCID連携（自動）** : JaLC DOIが付与されたコンテンツを、研究者の業績情報としてORCIDに自動登録する機能。

	As of Dec 2020	As of Dec 2021
JaLCの機能を利用してORCIDに手動連携された業績数（累計）	9,184	13,896
JaLCの機能を利用してORCIDに自動連携された業績数（累計）	6	20
JaLC ORCID自動連携機能利用者数（累計）	27	53

コンテンツのメタデータにORCID IDを登録することで、自動連携可能になります。
研究者の業績管理負担軽減のため、
JaLCメタデータについて、ORCID IDの登録を推奨します。

外部連携機関

連携機関	連携サービス名称	連携機関概要	連携内容
DOI Foundation	DOI登録	デジタルオブジェクト識別子（DOI）登録および関連サービスを提供するDOI登録機関（RA機関）のガバナンスおよび管理を担う非営利の会員制組織。	JaLCがRA機関としてDOI登録サービスを提供するため、JaLCデータを提供している。
Publishers International Linking Association (PILA)	Crossref	雑誌論文記事等へDOIを登録するRA機関。また、電子情報資源の全文所在情報を一元管理するサービスを運営している。	CrossrefのDOI登録を目的として、希望する正会員が登録したJaLCデータに限り提供している。
DataCite	DataCite	研究データ等へDOIを登録するRA機関。また、データ保持機関等と協力し、データセットに関する学術基盤を構築している。	DataCiteのDOI登録を目的として、希望する正会員が登録したJaLCデータに限り提供している。
National Library of Medicine (NLM)	PubMed	米国の国立医学図書館。生物医学文献データベースであるPubMedを運営している。	PubMedへの書誌データ登載を目的として、PubMed採択誌であり、かつ当該誌を発行する正会員が希望する場合に限りJaLCデータをPubMedへ提供している。
ORCID, Inc.	ORCID連携	会員組織からの支援によって成り立つ国際的な非営利組織。研究者に無償で提供されるユニークかつ永続的な識別子「ORCID iD」、および関連するサービスを運営している。	JaLCのサービスとして、JaLCのDOIが付与されたコンテンツ情報をORCIDへ簡単に業績登録できる機能「ORCID連携」を運用している。
Third Iron, LLC	BrowZine、LibKey	学術図書館のための電子ジャーナル閲覧支援システムを運営する米国企業。 電子ジャーナル閲覧支援システム「BrowZine」および論文フルテキストへのワンクリック・アクセスツール「LibKey」を提供している。	「BrowZine」、「LibKey」への書誌データおよび抄録の登載を目的として、JaLCデータのうちジャーナル論文に関するメタデータをThird Iron社へ提供している。 ※2021年9月時点での登載はJ-STAGEコンテンツの書誌データのみ。

2021年度の取組み事項

JaLC ストラテジー 2017-2022

ジャパンリンクセンターは、今後の5年間を見据えた運営方針として「ジャパンリンクセンター戦略 2017-2022」を制定（2017年4月1日公開）

ジャパンリンクセンター 5 つのストラテジー :

https://japanlinkcenter.org/top/doc/JaLC_strategy2017.pdf

- i) DOI やメタデータがオープンに活用されることを推進します。
- ii) 国際的な協調を図りつつ、日本における学術リソース、学術環境、言語等の多様性を生かした DOI の登録環境を整備します。
- iii) 学術において必要な様々なリソースに ID を付与する環境を構築します。
- iv) 研究データの利活用を促進し、オープンサイエンスの実現に貢献します。
- v) コミュニティの醸成に貢献します。

【ストラテジーを遂行するための 5 つのアクション】

1. 研究者が利用する様々なリソースに DOI を登録できるようにします。
2. 外部機関とのメタデータ連携促進、メタデータ検索機能の充実、DOI の利用状況の提供に取り組みます。
3. グローバルな研究 IT インフラとして、研究に関わる他の ID サービスとの連携を強化します。
4. 研究環境の変化に応じた柔軟なサービス開発体制を構築します。
5. 研究者、研究機関、図書館員、図書館、出版社、教育者、教育機関、IT 技術者、情報サービス提供者、研究助成機関、学会等を含む広範なコミュニティの醸成を図ります。

ストラテジーに基づいた取り組み

- ① メタデータのオープン化
 - 利用規約策定
 - REST APIリリース
 - JaLCコンテンツ検索の改修
 - Crossref登録データのオープン化
- ② 他のIDとの連携
 - ROR、Grant DOI登録のための改修
- ③ その他
 - プライバシーポリシー等の策定
 - 剽窃チェックサービスリリース（予定）
 - Webサイト構成の改善（予定）

①メタデータのオープン化

メタデータオープン化の目的

JaLCの保有するメタデータをオープン化することで、次のようなメリットが見込まれる。

- ✓ 文献検索サービス等にメタデータが掲載されることで、**DOI を登録したコンテンツへのアクセス数の増加が期待される。**

（例）文献検索サービスやディスカバリーサービス等にメタデータが掲載されることでリンク先が増え、アクセス数が増加する。

- ✓ メタデータが流通することで、これまで想定されていなかったメタデータの利活用が生まれ、**新たなサービスの創出につながる。**
- ✓ CrossrefやDataCiteでは、メタデータの公開・活用により他検索サービスの精度向上や論文データと研究データの紐付けサービスを提供し、国際的な学術情報流通の促進に寄与している。上記RAに倣って国内外の様々なサービスと連携することで、**国内学術情報の国際的な流通に貢献する。**

メタデータオープン化検討の経緯

①「ジャパンリンクセンター ストラテジー 2017-2022」の策定

JaLCのDOIを保有するコンテンツへのアクセス拡大を目指し、メタデータオープン化を検討

② 第1回 JaLC 会員へのアンケート（2017年12月実施）

JaLCメタデータオープン化の方針についてアンケート

③ JaLC 関係者会議（2018年11月開催）

JaLC会員30名程度と運営委員会でデータオープン化に関する講演や議論を行う。

抄録についても許諾は必要としつつ一般公開を望む声が多く寄せられる。

④ 第2回 JaLC 会員へのアンケート（2019年1月実施）

関係者会議での議論をもとに、「会員、非会員の差異無く抄録を含めたすべてのメタデータの利用を可能とする」方針についてアンケート

⑤ JaLC運営規則、参加規約改定（2019年10月改定、2020年4月施行）

②～④で議論された内容を元に、JaLCにおけるメタデータの取り扱いについて参加規約、運営規則にて改定。

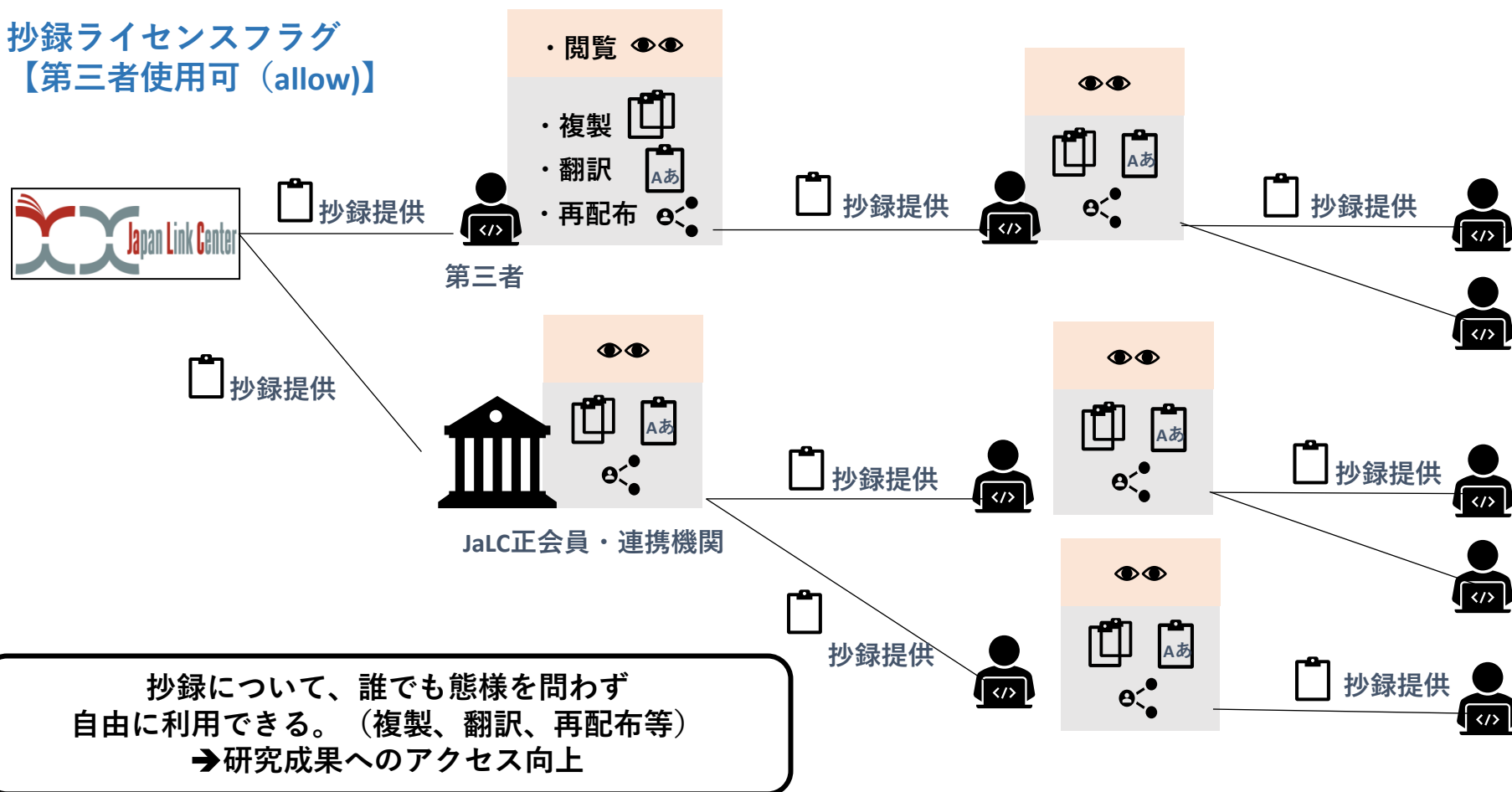
JaLCにおけるメタデータの 取り扱い・提供方針

JaLC 正会員がシステムに登録した書誌データ（標題、著者名、収録ジャーナル名、収録巻・号、開始ページ、ISBN、ISSN 等）、URI、引用情報、抄録や、JaLCが有効化（登録）した DOI等は、JaLC データとして、JaLC の情報提供機能（コンテンツ検索画面・API）を通じ、国内外問わず公開され、不特定多数の第三者が閲覧できる状態となります。

- 書誌データ、URI、引用情報、DOIは、目的・態様を問わず誰でも自由に利用できる。
- 抄録は著作権法上の保護対象となるため、JaLC正会員は、抄録の利用を許諾する対象を次のいずれかから選択できます。許諾の範囲は「**抄録ライセンスフラグ**」で示すことができる。
 - ① **不特定多数の第三者**に抄録の自由利用を許諾する
 - ② **JaLC正会員、連携機関のみ**に抄録の自由利用を許諾する
- 抄録の公開を望まない場合、「一括抄録情報登録画面」より登録している抄録を一括削除することが可能。

JaLCにおけるメタデータの 取り扱い・提供方針

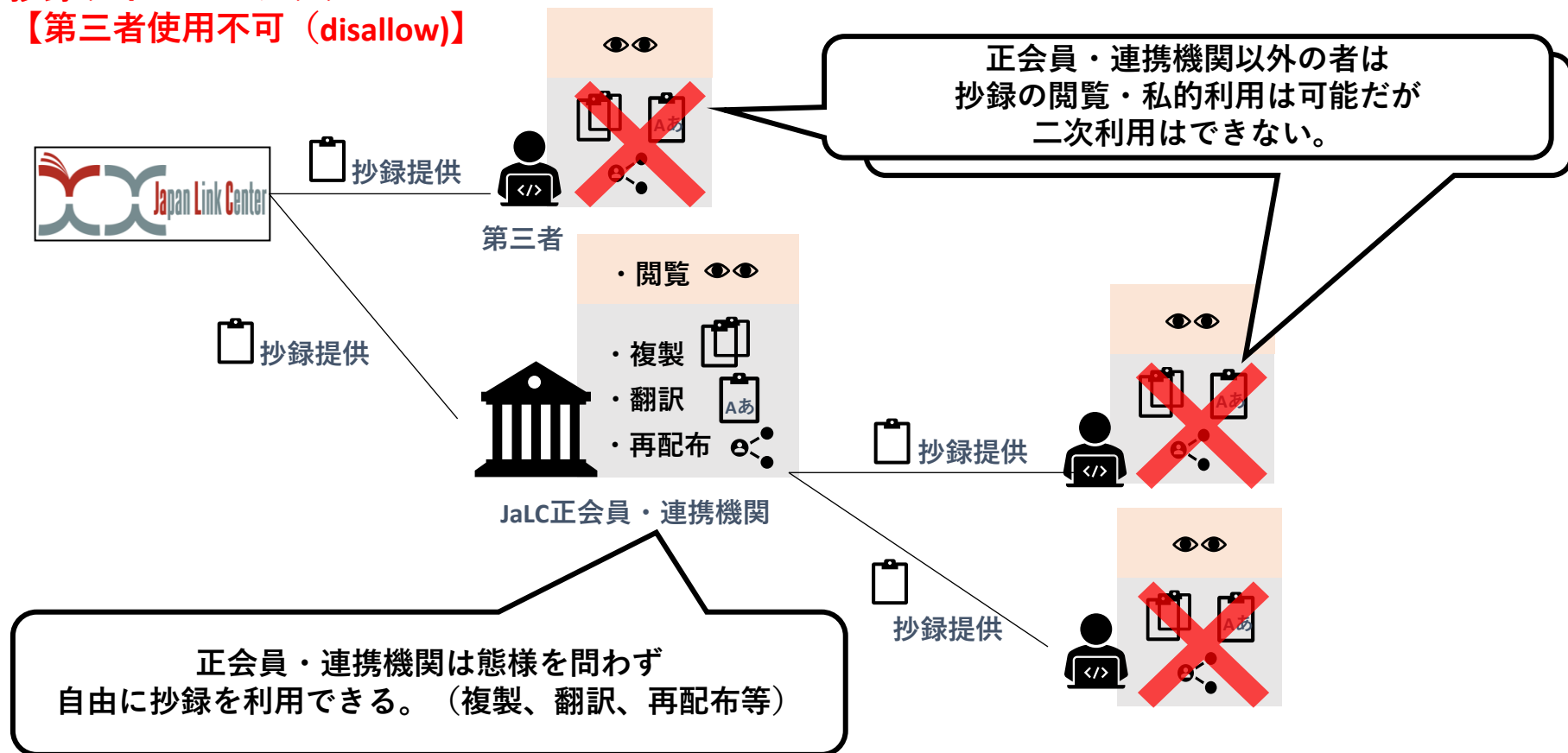
抄録ライセンスフラグ
【第三者使用可 (allow)】



JaLCにおけるメタデータの 取り扱い・提供方針

抄録ライセンスフラグ

【第三者使用不可 (disallow)】



メタデータオープン化の実施

参加規約・
運営規則改定

会員周知・
システム開発

オープン化
準備

段階的に
オープン化

2019年10月 会員周知
2020年4月 施行

★オープン化に関する
FAQ公開
(2019年12月)

2020年7月
抄録ライセンス
フラグリリース

★会員による抄録の許諾
確認・フラグ設定開始

2021年12月
データ提供サービス
利用規約策定
REST APIリリース
(引用情報の一般提
供開始)

★利用規約策定に伴い、
参加規約におけるメタ
データ取り扱いの表現に
ついて見直し・改定
★JaLCコンテンツ検索に
ついて、抄録提供開始の
ための改修

2022年2月 (予定)
JaLCコンテンツ検索
拡充
(抄録情報の一般提
供開始)

★当面はライセンスフラ
グ「可」の抄録のみ公開

JaLCのデータ提供サービス

サービス	対象	DOI、書誌データ、URI	引用情報	論文抄録
JaLCコンテンツ検索 (Web画面検索サービス)	一般	○	×	改修後、「可」抄録のみ ○
一般向けコンテンツ検索 インターフェース (DOIコンテンツ検索)	一般	○	×	×
JaLCメタデータ 一括ファイル提供	一般	○	×	×
JaLC REST API	一般	○	○	×
書誌情報XML_DOI名 検索	会員	○	○	○
OAI-PMH情報提供機能	会員	○	○	○

今年度実施事項 -利用規約策定

- 一般への引用情報、抄録情報提供開始に向けて、
JaLCのデータ提供サービス利用規約を策定、**2021年12月15日**施行
 - 正会員・連携機関向けデータ提供サービス利用規約
 - 一般向けデータ提供サービス利用規約

- 利用規約の策定および「抄録ライセンスフラグ」リリースを受け、参加規約に
定めた「メタデータの取り扱い」に関する内容の表現見直し、**2021年12月15日**
改定・施行
 - ※データの取り扱い方針については**2020年4月**施行の内容から変更なし

(参考) 今年度実施事項 -利用規約策定

旧	新
第8条 1項 正会員が本システム上に登録した書誌データ等につき、JaLCは、あらゆる第三者に対し、その目的や営利性を問わず自由に利用させることができる。	第8条 JaLCは、正会員が本システム上に登録した書誌データ等及びDOIにつき、他の正会員、連携機関及びあらゆる第三者に対し、JaLCが提供する各種サービスを通じ、利用目的や態様を問わず、自由に利用させることができる。
第8条2項 JaLCは、正会員が本システム上に登録した抄録を、他の正会員、連携機関に、利用態様を問わず無償で自由に利用させることができる。正会員は、本システム上に抄録を登録するに際し、自らの責任と費用において事前に当該抄録の著作者、著作権者との間で必要な権利処理を行うものとする。 第8条3項 JaLCは、正会員が本システム上に登録した抄録を他の正会員又は連携機関以外の第三者に利用させる場合は、あらかじめ当該正会員の承諾を得るものとする。	第9条1項 JaLCは、正会員が本システム上に登録した抄録につき、他の正会員及び連携機関に対し、JaLCが提供する各種サービスを通じ、利用目的や態様を問わず無償で自由に利用させることができる。 第9条2項 正会員は、自ら本システム上に登録した抄録について、他の正会員及び連携機関以外の第三者に対する利用許諾の可否を「抄録ライセンスフラグ」により設定することができるものとする。「抄録ライセンスフラグ」が「可」に設定されている場合、JaLCは、他の正会員及び連携機関以外の第三者に対し、前項と同一の条件で当該抄録を利用させることができるものとする。 第9条3項 正会員は、抄録を本システム上に登録するに際し、前2項の利用に支障とならないよう、自らの責任と費用においてあらかじめ著作者又は当該著作者から著作権の譲渡を受けた者（以下「著作者等」という。）との間で必要な権利処理を行うものとする。

今年度実施事項 -REST API

- 誰でも利用可能な新しいデータ提供サービスを2020年12月22日リリース。※
 - JaLCが保有する情報についてJSON形式で提供

- 以下のことが可能に！

- JaLCを通じて払い出された**DOIプレフィックスリスト**の取得
- **prefix**単位で登録されている**DOIリスト**の取得
- DOIが付与されたコンテンツの**メタデータ**※の取得

- ※ DOI登録者（サイトID）、コンテンツ区分（ジャーナル/書籍/研究データ等）、DOI登録機関（JaLC/Crossref/DataCite）、出版社、タイトル、著者、発行年月日、助成情報、ジャーナル情報、**引用情報**、他

- 令和4年度以降、抄録情報等の対象リソースの追加や検索・フィルター機能、集計機能追加を予定。

詳しくはJaLC Webサイト-サービス-JaLC REST APIをご覧ください。

今年度実施事項 -JaLCコンテンツ検索改修

■ Web画面検索サービス「JaLCコンテンツ検索」の拡充（2021年2月予定）

DOI

タイトル

著者名

発行年 ☐ ~ ☐

登録・更新年月日 ☐ ~ ☐

コンテンツ区分

※DOI、タイトル、著者名の検索は前方一致で行われます。
※著者名の姓と名の間には空白を入力してください。

[利用規約](#) ☐ 利用規約に同意

検索

クリア

抄録/センサック 設定

正会員名

ISSN

RA機関名

資料名

269件中1 - 100の結果を表示しています。

ソート:

検索条件に指定できる
項目の拡充

検索結果を正会員や
ISSN、RA機関機関等で
絞り込めるソート機能
追加

検索結果の一括DL機能
追加

今年度実施事項 -JaLCコンテンツ検索改修

詳細

JSON

DOI	
コンテンツ区分	ジャーナルアティクル
タイトル	
サブタイトル	
資料名	
作成者	
所属機関	
寄与者	
所属機関	
発行年	
出版者	
コンテンツ記述言語	
巻	
号	
ページ	

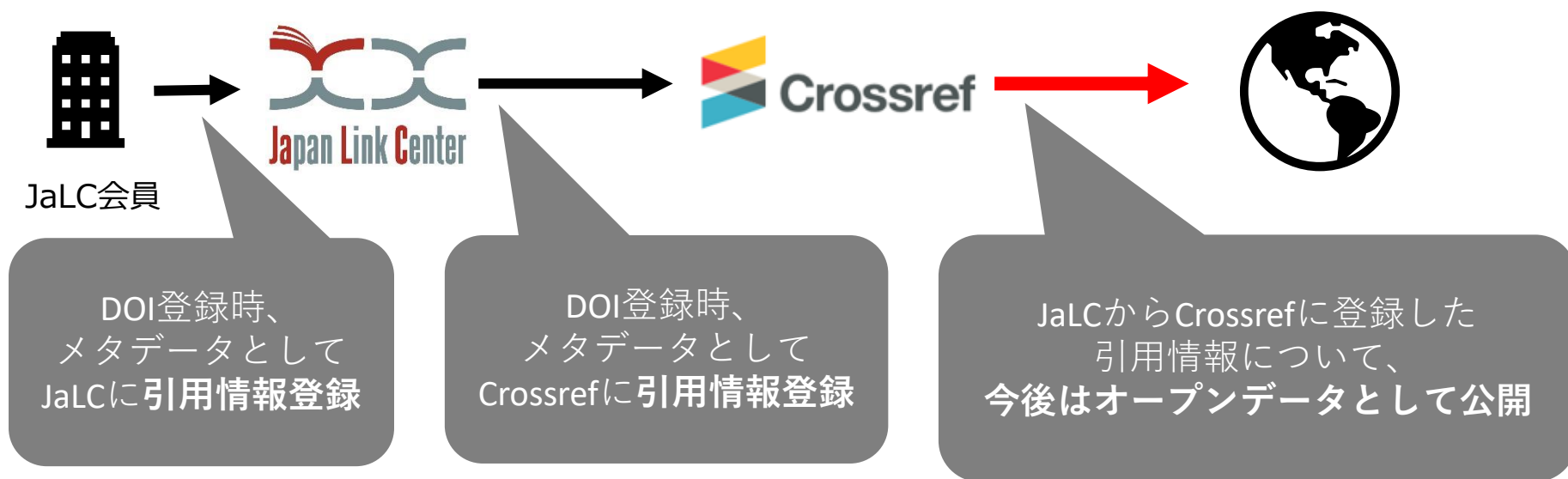
ページ	
論文番号	
書籍区分	
正会員名	
RA機関名	Crossref
Online ISSN	
Print ISSN	
ISSN-L	
抄録ライセンスフラグ設定	不可
抄録	

抄録ライセンスフラグ・抄録情報など、
検索結果として表示するコンテンツ情報の項目追加
※当面、抄録ライセンスフラグ「不可」抄録は非表示

PMID	
登録・更新年月日	

今年度実施事項 -Crossref登録データ

- JaLC経由でCrossrefにDOIを登録した論文の引用情報に関する
Crossrefにおける取り扱いについて、JaLCメタデータのオープン化に伴い下記変更

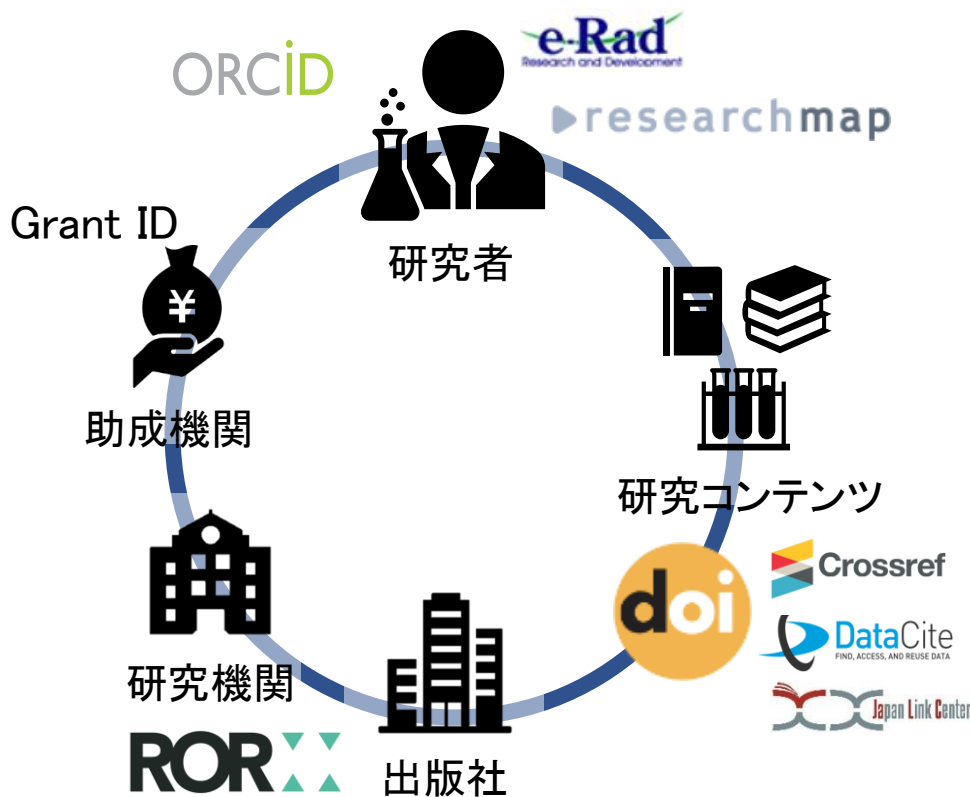


- Crossrefから情報を取得し利用している各種サービス(OpenCitations等)において
JaLCを通じて登録されたコンテンツの情報が取り込まれるため、
日本の研究成果の国際的な流通促進が期待される。

②他のIDとの連携

研究におけるIDの活用について

- 研究に関わる様々なものに特有のIDが登録され、それらが相互に連携する国際的な枠組みが作られつつある
- 各ID間の連携により、研究環境がより良くなることが期待される



- ✓ 様々な視点からの研究成果の検索が可能となることにより、情報へのアクセス性向上
- ✓ 研究コンテンツの利活用促進
- ✓ データ信頼性の向上 etc...

登録スキーマの改修

- JaLCの登録スキーマ改修（2022年1月予定）
- 以下のことが可能に！
 - 著者、作成者、寄与者の所属機関に関するID（**ROR,ISNI**等）について登録可能
 - 助成情報に関するID（助成機関IDや助成番号タイプ：**Grant DOI**等）について登録可能
- 上記改修に伴い、JaLCを通してDataCiteに登録できるメタデータについても拡充予定

詳細は改修時のリリースノート、ダッシュボード等でご案内します。

③ その他

取り組み事項（予定含む）

■ プライバシーポリシー等の策定（2021年12月15日施行）

JaLCサービスに関連する各種ポリシーについて策定

➤ 【JaLCプライバシーポリシー】

…JaLCが収集する個人情報の取り扱い方針

➤ 【JaLCサイトポリシー】

…JaLCのWebサイト、ロゴ等利用に関する利用条件等

➤ 【JaLCソーシャルメディアポリシー】

…JaLCが運営するSNS（Twitter, Youtubeアカウント）の運営方針

■ JaLC剽窃チェックサービス開始（2022年開始予定）

JaLC会員（正会員・準会員）のコンテンツ（例 ジャーナルアーティクル等）について、Turnitin社が提供するオンライン論文剽窃チェックサービス（iThenticate）を利用できるようになります。

なお、利用には利用件数に応じた利用料金がかかります。

■ JaLCWebサイト改善（2022年春公開予定）

JaLCのWebサイトについて、内容・構成等を見直します。

2022年度の取組み事項

JaLCストラテジーの策定

2022年度に、JaLCストラテジー2023-2028（仮）の策定に向けた取り組みを行います。

- 会員や関連機関、有識者への意見照会
- ストラテジーの検討
- ストラテジー達成のためのアクションの検討

ストラテジー検討に先立ち、JaLCの運営についてご意見をお寄せください！



ご清聴ありがとうございました